

すっかり真冬の寒さです

お正月準備も大詰めです

これを書いているのは十二月六日です。

季節外れの暖かさとなったり、かと思えば真冬並みの強烈な寒気が到来したりと、気温の乱高下が激しい今日この頃です。いつも書いてることですが、体調管理が難しいですね。

今年も残すところあと半月あまりとなりました。早いものでもうすぐお正月です。準備にばたばたしております。あわあわです。

最近は何の瀬といっても、だんだんとその雰囲気などが薄くなってきています。けれど、季節や歳時の節目節目というものは、古来から連続と伝え続けられてきたものです。そこには生きるための工夫や生活の知恵などが詰まっています。そういうものは大事にして、後生にきちんと伝えていきたいものですね。

皆さまにおかれましては風邪など引かないように注意して、年の瀬年明けを元氣にお迎えしてくださいね。



年神さまを迎える準備

さて、年の瀬ということでも以前も書いた内容ですが、大事なことで再掲ということ。

◆年神さまをお迎えするのがお正月

そもそも「正月」というのは、その年の初めに「年神さま」をお迎えし、祝う行事です。「年神さま」は五穀豊穡と生命の神さまで、神になられたご先祖様です。

わたし達は遠い昔から続くその生命の繋がりで生きています。その生命の繋がりの表れが、春に訪れ五穀豊穡をもたらす「田の神」であり新年が訪れたことを告げる「年神さま」です。古来からこの生命の神さまと共にわたし達は暮らしてきました。その大切な神さまを、清々しい気持ちでお迎えするための準備が、年末恒例の「すす払い」などのしきたりでした。

最近は何の瀬といっても、だんだんとその雰囲気などが薄くなってきています。けれど、季節や歳時の節目節目というものは、古来から連続と伝え続けられてきたものです。そこには生きるための工夫や生活の知恵などが詰まっています。そういうものは大事にして、後生にきちんと伝えていきたいものですね。

◆年末の大掃除は神棚とお仏壇から

もしご自宅に神棚やお仏壇をお祀りされているならば、一年納めの大掃除は是非ともそこから始めましょう。ご家庭を見守り、命を伝えてくれる神さまやご先祖様のおられる場所をまずはきれいにし、そして家中の大掃除に取りかかりましょう。

◆神さまはきれい好き

神棚を貴いものとして畏れるあまり、触れるのをはばかれてお掃除が全くなされていけないご家庭もときどき見かけます。

神さまはきれい好きなのに、恐れて汚いままにしてしまうというのはかえって失礼になります。手を合わせてご挨拶をし、きちんと神棚もお掃除しましょう。

◆門松やお飾りを飾る日

「門松」は年神さまが降りてこられる目印です。きれいに掃除がなされて祓い清められた家であることを証すものが「注連飾り」です。

これらを飾るのは、昔から二十日目までに済ませるとされていましたが、現代ではなかなかそうもいきません。なので、飾る際は「苦の日」とされる二十九日や、「一夜飾り」とされる三十一日は避けましょう。

◆年が明けたら産土様・鎮守様へ

無事に年が明けましたら、神さまとご先祖さまへのご挨拶をしましょう。まずはじめに家の神棚とお仏壇に手を合わせ、そして地元の産土さまと鎮守さまにお参りしましょう。